

第6号 平成21年6月20日  
横浜市地域まちづくりグループ ぐるっと緑道・遊歩道研究会 発行

## 更なる歩行者空間拡幅の報告

### 1、横浜トヨペット(株)の一部敷地使用の了承をいただきました。

昨年10月、歩行者の安全性向上のため、旧ヤマダ電気と横浜トヨペット(株)間の車道にグリーンベルトの歩行者空間が設置されました。しかし、車がすれ違う時にはグリーンベルトまで車が入り込むので、更なる対策が求められる状態でした。

ぐるっと緑道・遊歩道研究会では、横浜トヨペット(株)に「歩行者空間の拡幅のために敷地の一部を使用させてほしい。」と要望し、昨年より拡幅工事や敷地使用方法などについて、横浜市、都筑区及び横浜トヨペット(株)と協議してきました。この結果、横浜トヨペット(株)のご厚意により、歩行者の安全確保のため車道側の緑地部分約65cmを歩行者空間に使用することを了承していただき、工事の実施に向けて検討を進めることになりました。(5/13(水))

### 2、引き続き歩行者空間拡幅のための工事を検討しています。

#### ■ 実施済み

- ・昨年10月、グリーンベルト歩行者空間を設置



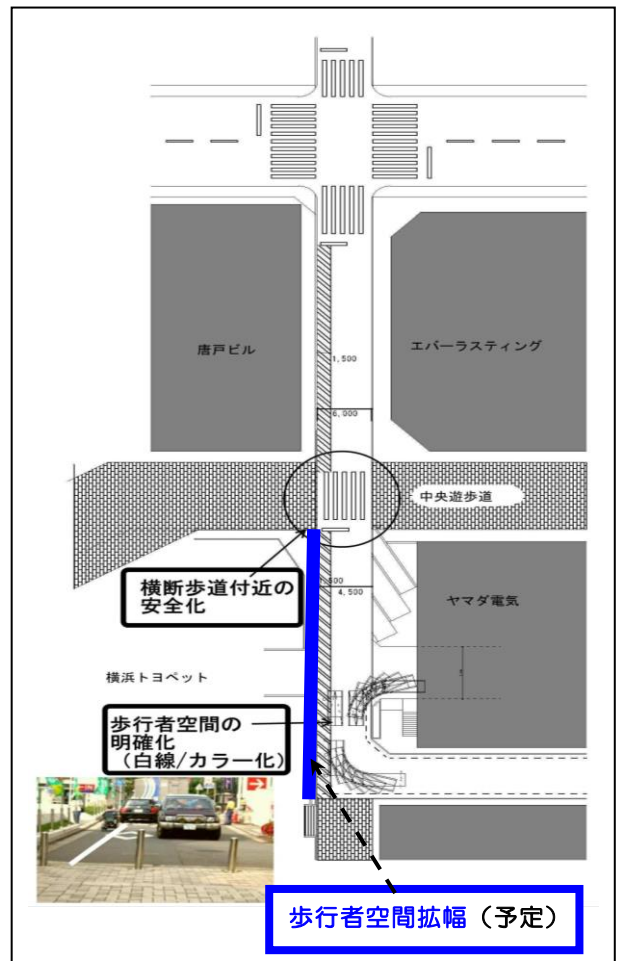
車が1車線走行のとき、歩行者は安全に通行できます。



車のすれ違い時はグリーンベルトに車が侵入します。

#### ■ 今後の計画

- ・都筑土木事務所が、横浜トヨペット(株)の敷地の歩行者空間拡幅工事を検討中です。
- ・当面の安全向上策として、L字カーブ部に車侵入防止用のポール増加と車用カーブミラーの取り付けが予定されています。
- ・横浜トヨペット(株)の将来の敷地利用変更時の連絡についてもお願いすることを検討しています。



## 第2回シンポジウム「安全・安心なまちづくりをめざして」開催

2009年2月15日(日)、中川西地区センターにおいて、第2回シンポジウムを開催しました。住民、中川駅前商業地区振興会、東京都市大学、行政など30人を越える方々が参加し、中川周辺の安全、安心なまちづくりについて意見を交換しました。

主な研究発表、報告は以下のとおりです。



### 1. 武蔵工業大学(現東京都市大学) 室田研究室学生による発表

#### (1) 安心カラーベルトの効果 (A地区)



- 8割以上の歩行者がカラーベルト内を歩くようになり、車と歩行者との交錯が減少して、歩行者の安全が向上した。
- アンケートでも6割以上の人、特に高齢者の方が安全になったと回答している。残された問題として、道路の狭さ、一方通行化、車のマナー改善などが挙げられた。以上のことから、安心カラーベルト事業は、歩行者と車の錯綜を減らし、幅員の拡幅が困難な条件下では、費用をかけずに安全性を向上させる効果があることがわかった。

#### (2) 自転車歩行者専用道路の自転車利用

- 中川地区は道路が傾斜しているので自転車に慣れていない子供がスピードを出して走行をしている。また、都筑ふれあいの丘に比べ長時間駐輪が多い。
- 都筑ふれあいの丘は中川地区に比べ道路の幅員が狭く、歩行者、自転車利用者双方の通行量が多い。
- 利用者の通行量、錯綜数と自転車の乗り方が歩専用道の安全性に影響を与え、自転車利用実態と住民の問題意識は必ずしも一致していない。



### 2. 利用者からみた安全性

#### (1) 学童からの視点 . . . . . 中川西小学校 保護者

- ・ 駅前遊歩道から車道に出る部分(L字カーブ部)がカラーになって子供達の安全への認識が高まり良かった。
- ・ 小学校の取組みとしては、マルエツ前遊歩道から車道に出る横断歩道の手前と、STEP塾脇の遊歩道から車道に出る手前に、足型マークをペイントした。
- ・ マルエツ側横断歩道では、保護者が朝旗振りをしている。また、中央遊歩道での子どもたちの歩き方が他の人に迷惑を掛けないよう、昨秋からマナーパトロールもしている。
- ・ 自転車の乗り方指導の実施、乗り方についてのお便りも出している。

#### (2) 車椅子利用者からの視点 . . . . . 中川3丁目 住民

- ・ カラーベルト化でいくぶん通りやすくなったが、2台の車がすれ違う時や旧ヤマダ電機の地下駐車場から車が出る時など、道路ぎりぎりまで車が迫ってくるのでまだまだ安心して通れない。避けようにも障害者や乳母車はとっさに動けない。安全のために歩行者空間の拡幅を是非実現して欲しい。



### 3. ビルオーナー側からの歩行者空間とは . . . 中川駅前商業地区振興会会長 大久保信正さん

オーナーたちはビルを建てる時セットバックだけでなく、通り抜け通路など町の回遊性にも気を配っている。ビル入口にスロープをつけたり、障害者用トイレを作るなど安全・安心のまちづくりを考えている。



中川は、平成19年度から「福祉のまちづくり重点推進地区」に指定され、中川駅上ビル(地域ケアプラザ・老人保健施設・保育園)の建築も再開し5月末には完成の予定である。これを契機として、センター南・北・中央地区やららぽーと地区のような大型商業地区とは違う、中川を住みやすいまちにしていきたい。

**次回ぐるっと緑道・遊歩道研究会は、7月5日(日)13時~15時まで中川西地区センターで開催します。皆様のご参加をお願いたします。**